

| | 構成要素 | 内容 | 段階1 | 段階2 | 段階3 |
|---|------------|-------------------------------------|--|--|--|
| ① | 洞察 | 自分の問題について気づき、理解する | 気づく 自分の話し方がまわりと違うと感じる、意識する。 | 知る どもりや、どもる人の存在、生き方について知る。問題を外在化する。 | 理解する 吃音の問題の本質がどこに(氷山の下の)あるのか考える。 |
| ② | 独立性 | 吃音と吃音の問題をわけ、吃音に支配されない、自分が人生の主人公になる | 迷い出る どもることから、一時的に自分を避難させる(しゃべらない、まねをする) | 遊離する 問題との距離の取り方、問題への対処の仕方を、自分なりに工夫する。 | 折り合いを付ける どもりを治すことはあきらめるけれど、自分の人生はあきらめない。 |
| ③ | 関係性 | 親密で満足できる人間関係、結びつきを大切にする | 結びつく どもる自分をそのまま自然に受け入れてくれる人につながろうとする。 | 募集する 自分にとって必要な人間関係を求め、どもりの仲間との出会い。 | 人間関係を作る 「いかに生きるか」のテーマで語り合い、一緒に考える人を探す。 |
| ④ | イニシアティブ | 問題に立ち向かい、自分を主張し、自分の生きやすい環境に変えていく | 探索する 好奇心の赴くまま、どもりながら話す場面に参加する。 | 取り組む 目的意識をもって、話すことを避けずに役割(当番や委員会)を果たす。 | 生み出す どもりながらも、仕事に就く。どもって話しながら目的を達成する。 |
| ⑤ | ユーモア | 自分の欠点や弱点を人ごとのように笑い飛ばし、自分の嫌な気持ちを解放する | 遊ぶ 夢中になって遊ぶことは、自分を取り戻すこと。自分が何かを考え作り出すことや、おもしろさを生み出す力をもっていることを確かめる。 | 笑う・楽しむ 笑っても、おもしろがっていいことを発見する。自分と問題との距離を置く。 | どもり川柳・どもりカルタ、ユーモアスピーチ。にもかかわらず笑う。 |
| ⑥ | 創造性 | 悩みの中から自分を解放させていくプロセスが、新しいものを想像する | | 構成する 自分の吃音を見つめ直し、新たな意味づけを行う。キャラクター、漫画。 | どもりやどもる自分を題材にした作品作り。ことば文学賞の取り組み。 |
| ⑦ | モラル | 充実したよりよい人生を送りたいとの希望をもつ | 判断する 自分によりよく生きたい意欲があること、生き方を考えられることに気づく | 大事にする 思いやり、正義感、誠実さに価値をおく。偽善に対して、違うと声を上げる。 | 仕える 奉仕が日常的な活動となる。自分の人生の意味を考え、行動する。 |
| ⑧ | アサーション | あなたも私も大事にするコミュニケーションのあり方 | 感じる 自分の中に今起こっている感情(腹が立つ、悲しい、怒る)を感じる、気づく。 | 表現する 口に出したり、手紙に書いたり、絵に描いたり、音楽にして表出する。 | 感情の適切な対処 あなたも私も大切にす主體的表現をする。感情の伝え方を工夫する。 |
| ⑨ | 楽観的人生観・人間観 | 明るく、豊かで、有意義な人生がおくれるんじゃないかと思う | 生き方を知る 小説や誰かの話から、楽観的に生きる人の人生の有り様を知る。 | やってみる 目標とする生きたかの一部であっても、自分もやれると思って、模倣する。 | 希望がもてる 問題があったとしても、何とかなるかもしれないという希望がもてる。 |
| ⑩ | 共同体感覚 | 自分はひとりじゃない。自分には居場所がある。そして為すべきことがある | 自己肯定 あなたはあなたのままでいい。どもる自分のままでいい。 | 他者信頼 あなたはひとりではない。人生とは何かを語り合える。 | 他者貢献 あなたには力がある。しなければならぬことをする。期待に応える。 |

※この表は今後さらに内容を検討し、改訂していく予定です。